

## 寅さん歩 その13

### お江戸の閻魔大王-7

(西高島平～新井薬師)



平野 武宏

お江戸の閻魔大王には「寅さん歩 その11 江戸・東京の祭-28 (江戸らしい祭-12) 閻魔まつりで7ヶ所訪問しましたが、お江戸の閻魔大王はなんと44ヶ所もあるとのこと。2012年寅次郎がお江戸に移り住み、入会した東京都ウォーキング協会(以降TWA)では8回に分け、2016年から2年間かけて歩いて巡る予定と知り、「寅さん歩」の新たなテーマとして取り組んでいます。

今回はその7です。閻魔大王は基本的にはご開帳の時(1月・7月)にしか、ご尊顔を拝見出来ませんが、例会当日はTWAが寺院に特別にお願いして、お会いすることが出来ます。平成29年(2017年)7月8日3ヶ所の閻魔大王にお会いする例会に参加しました。通して歩くと18kmになるので、10kmのショートコースもありました。説明内容は現地の説明板及び当日の配布資料を参照しています。最寄り駅は代表例です。

#### [赤塚山 慶学院 乗蓮寺]

板橋区赤塚5-28-3 最寄駅 三田線 西高島平駅



前回は東武東上線下赤塚駅からバスで来たことがあります。千葉氏居城赤塚城二の丸跡の台地にある浄土宗の寺です。

寺の入口の右手前に閻魔堂があり、閻魔大王は左に奪衣婆、前に側近を引き連れて鎮座（写真上）。寺入口階段を上ると、東京大仏、本堂があります。今回は閻魔堂を見ずに東京大仏に行っていました。



寺入口（門の右手前に閻魔堂）



本堂



東京大仏

重量 32 t、高さ 12.5m  
（座高 8.2m、蓮台 2.3m、  
基壇地上 2m）

奈良、鎌倉に次ぐ大仏  
と記載。

説明板によると「寺は応永年間（1394年～1428年）に了賢無的が山中村（現仲町）で人々に教化したことに始まり、後に板橋の中宿（現仲宿）に移転したと伝えられます。

天正 19 年（1591 年）に徳川家康から十石の朱印地を与えられて以来、代々の将軍から朱印状を与えられました。また、寛保 3 年（1743 年）将軍吉宗が鷹狩りの際に雨宿りしたのが縁となり、それ以降、将軍家の鷹狩りの小休所や御膳所となりました。

高速道路の建設に伴う国道 17 号線の拡張工事により、昭和 46 年から 7 年の歳月をかけて現在の地に移転しましたが、その際に天災、戦災などの無縁仏の供養や恒久平和を祈願して青銅製の東京大仏が建立されました、境内には板橋の領主 板橋信濃守忠泰の墓や天保飢饉供養等、藤堂家ゆかりの石像等があります」と記載。

寅さん歩その10 健康ご利益めぐり-17 板橋区参照ください。

## 〔谷原山 長命寺〕

練馬区高野台 3-10-3 最寄駅 西武池袋線 練馬高野台駅

真言宗豊山派の寺です。説明板によると「長命寺は小田原北条氏の臣（早雲のひ孫）であった増島重明が北条氏没落後、隠棲し、慶賛と号し高野山へ登り、木食修行において弘法大師の木像を感得し、谷原に一院を営んだのを初めとします。重明の家督を継いだ増島重俊が、紀州高野山の構えにならって堂宇を建造し、長谷寺小池坊の僧正秀算が長命寺と命名したものです。紀州高野山を模したので東高野山と呼ばれ、弘法大師入定の地勢を模して整備した奥之院があります」と記載。南大門の正面にあるのが本堂、南大門左手に奥の院入口があります。奥の院の先端に閻魔大王、石像がたくさん鎮座していました。



南大門



本堂



東高野山奥之院 入口



閻魔大王像が並びます。

写真下は一番奥に鎮座している大きい閻魔大王像 2体です。



寅さん歩その10 健康ご利益めぐり-16 練馬区を参照ください。

## 〔新井山 梅照院 薬王寺〕

中野区新井 5-3-5 西武新宿線 新井薬師前駅

真言宗豊山派の寺で、**新井薬師**の名で親しまれています。  
説明板には「当寺の薬師如来に眼病治癒を祈願した、二代將軍徳川秀忠の五女の眼の病がたちどころに回復したとして有名になって以来、眼病治療や子育てにご利益があるとされている」と記載。閻魔大王は正面の門を入り、左手にある二重塔内に鎮座していました。何回か訪問しましたが、二重塔の中に閻魔大王が鎮座とは知らずに通り過ぎていました。

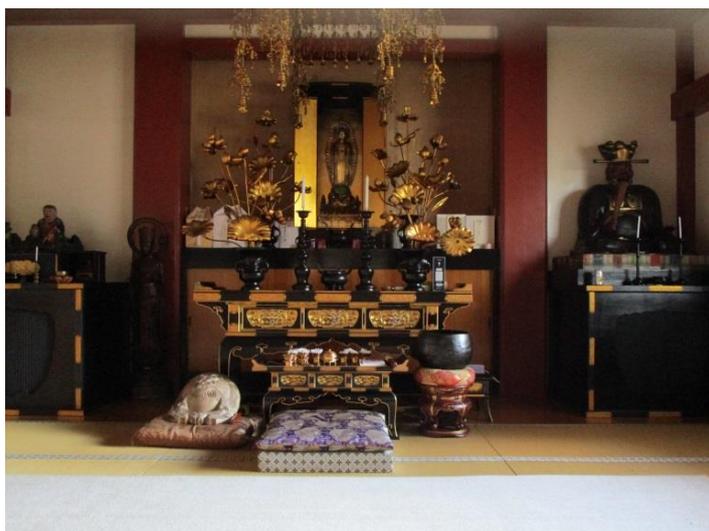


正面の門



二重塔

閻魔大王は右手に、奪衣婆は左に鎮座しています。



寅さん歩その10 健康ご利益めぐり-29 中野区を参照ください。

## 番外編 [海巖山 徳願寺]

市川市本行徳 5-22 東西線 妙典駅

千葉県市川市にあるのに、お江戸閻魔大王 四十四の 42 番目に位置しています。番外編として訪問しました。

寺の説明板には「埼玉県の雁巣にある勝願寺の末寺であったが、徳川家康の帰依により、慶長 15 年（1610 年）に徳川の「徳」と勝願寺の「願」の二文字をとって徳願寺と名が付けられた。明治 6 年（1873 年）には行徳小学校が当寺を仮校舎として開校している」と記載。

山門（写真下左）を入り、鐘楼（写真下右）の先の観心堂に閻魔大王が鎮座。





観心堂入口の閻魔像



観心堂



前の説明紙には  
「この閻魔大王  
像は鎌倉初期を  
代表する仏師  
**運慶**作で、ここ  
にある由来は判  
然としないが、  
古くから善男善  
女を導いてきた」  
と記載。

番外編を含め、今までにお会いした閻魔大王の累計は 36 ヶ所  
(内 2 ヶ所は奪衣婆のみ) です。

次回のお江戸閻魔大王めぐりの例会(最終回)は 10 月 8 日です。

平野 寅次郎 拝